

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人吉田向陽会	代表者	川原園勝夫	法人・事業所の特徴	地域との交流と介護相談（特に認知症対応）に力を入れています。また、地域の方々との交流もかね、協働で「地域行事」を行っています。赤ちゃんから高齢者の方まで幅広く、当施設が「憩いの場」として活用できるように努めています。
事業所名	鹿児島吉田の郷	管理者	仮屋たつ子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	5人	人	人	1人	2人	5人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	スタッフ全員が意見を出しやすい職場環境を整え、サービスの質の向上に努め情報の共有が上手く出来る様に改善する。利用者様の施設内の様子だけでなく、自宅内での生活環境の把握に努める。	日々のミーティングを活用し、スタッフが意見を出し合い利用者様一人一人に合ったサービスの質の向上に繋げる事が出来た。利用者様の御自宅での様子等が情報として入ってこない場合もあり、把握するのに苦労した。	施設内の事は外からは解りにくいですが、利用者様やご家族様とどこまで関わる事が良いのかは難しい事もあるので苦労が多いのでは。	運営推進会議等の発表の場で、困難事例や検討事項などどんな風にカンファレンスを行い、どんなふうに関助を行って解決に繋がって行ったかを報告を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方々と施設内、施設外のイベント等で積極的に交流をはかり、事業所に訪ねやすく居心地の良い環境作りに努め、利用者様・ご家族様、地域の方々に関わられた雰囲気作りを目指していく。	同居以外のご家族様や近所の方々の面会などいつでも訪ねて来れるようお茶いっぺの精神で受け入れている。老人会や婦人会の方々とそうめん流しに外出したりそば打ちに参加して頂いたり交流を持つ事が出来た。保育園との交流も定期的に行われている。	2カ月に1回の運営推進会議で前月行った外出行事や施設内行事で写真等の掲載もあり利用者様の笑顔も見られ、とても喜ばれており楽しまれているのが解る。	継続して行事や取り組みの内容を報告を行う。今後はそば打ちだけに限らず施設内見学会、配食（お弁当）の試食会を行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事やイベントでの交流を通して、声掛けを行なう事で情報収集や事業所の取り組みを知っていただく。地域の方々を訪問しやすく頼れる施設になれる様に地域交流を深めていく。	老人会、婦人会の方々のご協力もあり昨年より利用者様の喜ばれるイベントを行う事が出来た。地域で行われているイベントに参加する機会が少なかつたので、今後は色々なイベントに参加出来る様にして行きたい。	老人会、婦人会の方々が施設のイベントに参加し、職員が利用者様の為に頑張っているのは解るが、施設内の様子等が解らないので試食会などをしてはどうか。	老人会、婦人会以外にも地域の活動に積極的に参加し運営推進会議を活用し連携を図り地域の方々が訪問しやすい施設になる様に努めて行く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	年間計画を立てて、地域の行事・イベントに参加していく。利用者以外の地域の方、「心配な方」とも関わっていき、自宅への訪問、情報交換、情報提供に積極的に取り組んで行く。	町内会に加入し地域のお達者クラブや敬老会への参加、また、地域小学校の運動会に参加出来ている。牟礼岡地域に限らず吉野吉田地区にお住まいの方の地域行事に参加する機会がなかった。	町内会で大変な事は、人を集める事なので地域の行事に参加して下さると有り難い。回覧板で行事の案内を出しているのを見て都合がつけば参加してほしい。	回覧板、運営推進会議等で情報交換をこまめに行い地域の行事、老人会、婦人会の行事に以前よりも参加し地域に関わって行きたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で事業所の活動内容を報告し、又取り組みを地域に発信していく。委員の方々から提供された情報を事業所は積極的に検討して取組み。運営推進会議と事業所が一体となり、よりよい支援を目指す。	二か月に一回の運営推進会議では事業所の現状報告や利用者様の事例報告を行っている。委員の方々から頂くご意見で励みを受けたり、改善課題がある場合には事業所に持ち帰り、都度検討している。	運営推進会議の内容でどんな取り組みをしているかはわかるが、施設の見学会などを行って地域の方々に参加して頂くのも良い。	運営推進委員の方々、地域の方々、地域包括センターの方々に施設見学を開催し、施設の運営方針介助等の取り組みを実際に見て頂き理解を深めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	年間計画を立て夜間の不審者を想定した訓練に取り組んでいく。近隣住民及び運営推進委員の方々が参加し、協働した避難訓練、不審者対応訓練を組込み実施する。	近隣住民の方々に参加して頂き、避難訓練や救命救急でのAEDの使い方を勉強する機会もあり、防災に対する取り組みが出来たが、不審者対応については取り組みなかった。	年に1回消防訓練は地域の方々も参加させて頂き、良く取組んでいると思う。今後は、不審者訓練や風災害などの訓練にも参加してはどうか。	年間計画に消防訓練以外にも不審者訓練、風水災害等にも力を入れ地域の方々、地域包括支援センターの方々にも参加して頂く。